

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月13日

協議会名: 輪島市離島航路改善協議会(R5.1.1輪島市地域公共交通会議に吸収)

評価対象事業名: 離島航路運営費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
へぐら航路株式会社	輪島～舳倉島	<p>前回の事業評価を踏まえ、令和4年度は利用促進及び経費の節減を引き続き継続する内容の計画とした。</p> <p>利便性確保のため、1日1往復の運航を維持した。</p> <p>利用促進のためのPRを引き続き実施し、利用者の増加に努めた。特に新船就航をPRすることで、利用促進を図った。</p> <p>無駄な支出がないよう、経費削減に努めた。特に、資金繰りのための借入金を輪島市から借り入れることにより、利息額を抑制した。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>事業が計画に位置づけられた目標を達成した</p> <p>・年間旅客運賃 【目標】 14,841,865円 【実績】 15,191,040円 ⇒達成</p> <p>・年間貨物運賃 【目標】 12,360,546円 【実績】 12,966,800円 ⇒達成</p> <p>・収支率 【目標】 29.1%以上 【実績】 31.5% ⇒達成</p> <p>・情報発信 【目標】 積極的な情報発信を実施する 【実績】 観光需要をメインに情報発信を行った ⇒達成</p> <p>・料金体系及び運行体制の維持 【目標】 料金体系の維持及び1日1往復の運航体制の維持 【実績】 維持した ⇒達成</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、概ね堅調に推移し目標を達成した。今後も引き続き利用促進を図る。</p> <p>貨物運賃収入の大部分を占める舳倉島近海の漁獲量は多くはなかったが、目標を達成することができた。貨物運賃は重要な収入源であることから、安全最優先のもと、確実な輸送を行う。</p> <p>収入を増加させつつ、費用を削減できるよう努める。</p> <p>利用者数の底上げのため、引き続き積極的に情報を発信していく。</p> <p>島民の利便性並びに観光誘客のため、1日1往復の運航を確保していく。</p>